

令和3年6月補正予算の概要

(専決補正予算含む)

松江流「新しい生活様式」

感染予防の基本 「ま・つ・え・じょ・う」

ま

まめに手洗い



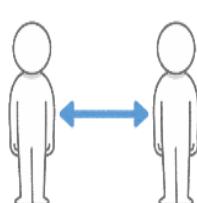
つけようマスク



3密さけて

え

縁はそのまま、
えん



じょうず
じよ
上手に換気を



健康管理

ウイルスに負けない

じょ
う

健康管理

松 江 市
令和3年6月16日

【6月補正予算（第3号）案の内容】

新型コロナウイルス感染症対策に要する予算 及び

7億3,520万円

市長公約に掲げ、早急に取り組むべき課題への対応に要する予算

新型コロナウイルス感染症対策

6億6,358万円

I 地域の事業者を支援 4億7,500万円

- プレミアム付飲食券発行による市内消費喚起
- 中小企業及び個人事業者へ給付金支給

II 市民生活を支援

1億8,858万円

- 自死対策のための情報発信の強化
- 小中学校の修学旅行キャンセル料の支援
- 児童手当等受給世帯に対する特別給付金の支給

市長公約に掲げ、早急に取り組むべき課題への対応

7,162万円

III どだいづくり 355万円

- 市民に寄り添う市政
 - ・「市民に届く」広報体制の強化
- 再生可能エネルギーの普及促進
 - ・ブルーカーボンオフセット制度構築のための調査

IV ひとづくり

6,307万円

- 地域の将来を担う子どもたちの育成
 - ・小学校1・2年生教室への電子黒板等の配備
- 市民が支えあう「共生社会」の実現
 - ・重度障がい者等の通勤時における介助費用を支援
- 子育て環境の充実
 - ・民設児童クラブの新築または増築に対する補助

V まちづくり 500万円

- 都市機能の強化、中心市街地の賑わい再生、水辺空間の整備
 - ・エリアビジョン策定のためのワークショップ開催等経費
 - ・「職人商店街」の実現に向けた実態調査

財源

	予算総額	7億3,520万円
財 源 内 訳	国庫支出金	6億9,176万円
	県支出金	1,986万円
	繰入金 (財政調整基金)	2,358万円

I 地域の事業者を支援

新型コロナウイルス感染症対策

プレミアム付飲食券発行による 市内消費喚起



～プレミアム付飲食券発行事業費～

事業費：7,500万円

新型コロナウイルス感染症の流行長期化により、売上減等の影響を受けている飲食店を支援するため、プレミアム付飲食券を発行し、消費の促進を図る。

○概要

販売価格4千円、利用価格6千円（プレミアム2千円）の飲食券を30,000組販売（1組あたり500円×12枚綴）

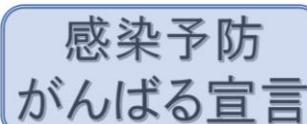


○期間

市内の感染状況等を勘案しながら決定

○対象店舗

「感染予防がんばる宣言」宣言店



○実施主体

松江地区商工会・商工会議所連携協議会
(市はプレミアム相当額等を補助)

中小企業及び個人事業者への 給付金支給



～事業継続支援給付事業費～

事業費：4億円

感染症の拡大により、経営に影響を受けている中小企業者等に対し、事業継続のための給付金を支給する。

○給付額

法人：1事業者20万円
個人：1事業者10万円

○支給条件

令和3年1月から5月のうち連続する3か月間の売上の合計が、前年同期又は前々年同期と比べて50%以上減少していること等

○実施時期

令和3年7月下旬
～9月末（予定）



Ⅱ 市民生活を支援

新型コロナウイルス感染症対策

自死対策のための 情報発信の強化

新 ~自死対策事業費~

事業費：134万円

感染症の影響で自死リスクが高まることのないよう、相談窓口の周知や啓発活動等を行う。

小中学校の修学旅行 キャンセル料の支援

～修学旅行キャンセル料支援事業費～

事業費：234万円

保護者の経済的負担軽減のため、感染症の影響によって修学旅行を中止または行き先変更した場合、キャンセル料の全額を支援する。

○対象経費

- ①修学旅行中止に伴うキャンセル料
- ②修学旅行の行き先を変更したためキャンセルした、当初の修学旅行のキャンセル料



低所得の児童手当等受給世帯 に対する特別給付金の給付

新 ~子育て世帯生活支援特別給付金（その他世帯分）事業費～

事業費：1億8,490万円（国10/10+市単独）

低所得の子育て世帯に対し生活の支援を行うため、児童一人当たり**一律5万円**の子育て世帯生活支援特別給付金を支給する。

- ・国制度に基づき令和4年2月28日以前に出生した児童等に支給（4月6日付け専決補正予算（1号）で対象としたひとり親世帯以外の世帯が対象）
- ・国制度の対象外となる令和4年3月1日から4月1日に出生した児童は、市単独事業として支給対象とする。

【4月6日付け専決補正予算（第1号）の内容】

1億4,881万円（国10/10）

子育て世帯生活支援特別給付金（ひとり親世帯分）に関する予算

- ・国制度に基づき、児童扶養手当の支給を受ける児童等に支給

Ⅲ どだいづくり

〈市民に寄り添う市政〉・〈再生可能エネルギーの普及促進〉

「市民に届く」広報体制の強化

新 ~広報体制の強化・進化事業費~

事業費：256万円

17 パートナーシップで
目標を達成しよう



「市民に届く」広報体制の強化を図るため、メディア出演など、市長自らが先頭に立つて情報発信を行う。

○概要

- ・市民向け情報番組での市長情報発信枠の新設
- ・制作された市政番組・情報番組をオンライン動画共有サービス等に投稿
- ・オンライン動画共有サービス等情報配信用機材の購入



ブルーカーボンオフセット制度構築のための調査

新 ~ブルーカーボン活用事業費~

事業費：99万円

13 気候変動に
具体的な対策を



14 海の豊かさを
守ろう

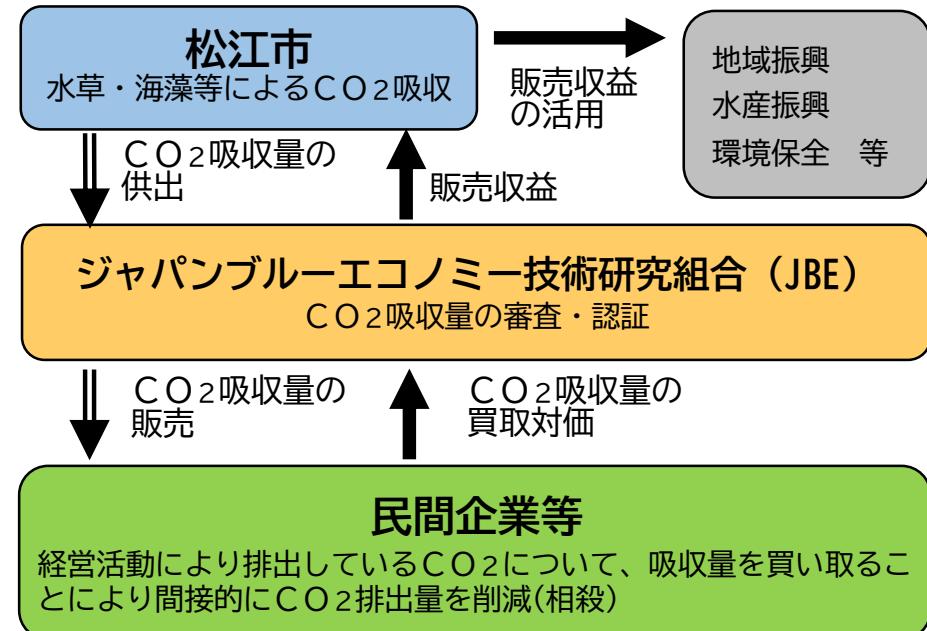


海藻や水草によって吸収される二酸化炭素（ブルーカーボン）を活用したカーボンオフセット制度の構築を目指す。

○令和3年度事業内容

水域環境調査、先進事例調査、事業モデルの構築

○ブルーカーボンオフセット制度のイメージ



Ⅳ ひとつづくり

〈地域の将来を担う子どもたちの育成〉・〈市民が支え合う「共生社会」の実現〉

小学校1・2年生教室への 電子黒板等の配備

～ICT活用教育推進事業費～



事業費：750万円

情報活用教育の一層の充実のため、電子黒板が未配備の市立の小学校及び義務教育学校1・2年生教室へ電子黒板等を追加配備する。

○事業概要

電子黒板及び指導者用タブレット各137台を配備する。

(令和3年10月から5年リースの予定)

- ・電子黒板リース料（6ヶ月） 586万円
- ・タブレットリース料（6ヶ月） 164万円

【配備済み】

タブレット：全児童生徒用15,558台、指導者用620台

電子黒板：小3～中3教室と
全特別支援学級
と理科室へ620台

無線LAN：整備済み



重度障がい者等の通勤時に おける介助費用を支援



新 ～重度障がい者等就労支援特別事業費～

事業費：303万円（国1/2・県1/4）

重度障がい者等の通勤時における介助にかかる費用（交通費は除く）を支援する。

○対象者（以下のいずれにも該当すること）

- ・障がい者福祉サービスの重度訪問介護、同行援護又は行動援護の利用者（重度障がい者等）
- ・企業に雇用される者、自営業者等であって、1週間の所定労働時間が10時間以上の者



IV ひとつづくり 〈子育て環境の充実〉

4 質の高い教育を
みんなに



民設児童クラブの新築または増築に対する補助

新 ~児童クラブ施設整備費補助金~

事業費：5,254万円（一部、国・県補助）

待機児童対策として、柔軟な受入れが可能な民設児童クラブの整備に対し補助を行う。

○事業目的

学年を限定しない受入、早朝・夜間の受入、校区を限定しない受入等を行う民設児童クラブの新築または増築等に対し補助を行う。

○事業費

5,254万円（2施設を想定）

○スケジュール

令和3年7月下旬～募集、審査会
8月末 国へ申請手続き開始
10月上旬 補助金交付決定、工事着手
令和4年4月 開設

市内児童クラブ待機児童数推移

(毎年度5月1日時点 単位：箇所、人)

年度		H28	H29	H30	R1	R2	R3
公 設	クラブ数	55	56	58	57	58	61
	待機児童数	14	15	10	16	41	34
民 間	クラブ数	15	19	22	27	31	33
	待機児童数	27	1	3	24	14	57



エリアビジョン策定のためのワークショップ開催等経費

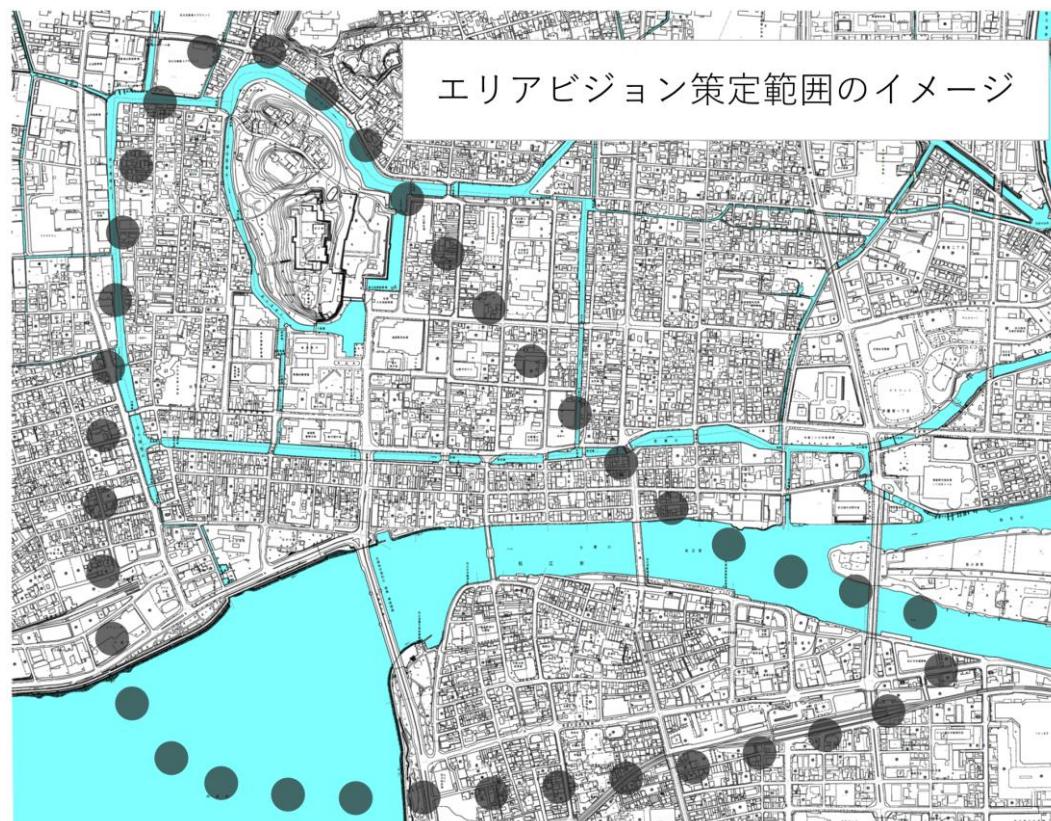
新

～中心市街地エリアビジョン策定事業費～



事業費：300万円

市民参加によるワークショップ等を開催し、市民と共に中心市街地のエリアビジョンを策定する。



○スケジュール

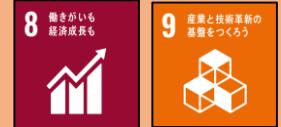
- 令和3年9月：ワークショップ参加者公募
- 令和3年10月：ワークショップ開催
- 令和3年12月：エリアビジョン策定

○事業費

ワークショップ開催支援業務等委託	150万円
エリアビジョン宣伝等経費	150万円

「職人商店街」の実現に向けた実態調査

新 ~職人商店街調査検討事業費~



事業費：200万円

中心市街地に、多彩な伝統工芸などが集まる「職人商店街」の創出を目指し、本市の商店街の実態、他市の先進事例等を調査する。

○調査内容

実態調査：商店街の現状、空き店舗の状況等

事例調査：先進都市（金沢市等）の事例

市内の職人



(出典) 市HP「松江の匠」

【4月21日付け専決補正予算（第2号）の内容】

島根町加賀大規模火災関連経費に係る予算

1億8,253万円

被災者への支援

事業費：1億6,646万円

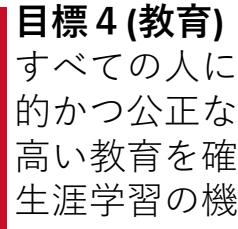
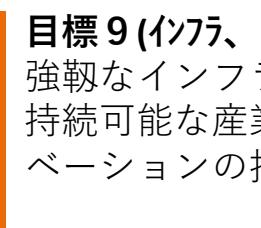
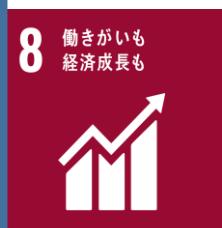
- | | |
|----------------------------------|-----------|
| ・避難所運営経費及び被災者への市営住宅・生活必需品貸与に係る経費 | 556万円 |
| ・被災住宅等の解体費及び火災廃棄物の運搬・処分費 | 1億6,000万円 |
| ・一定の損害を受けた被災住宅の応急修理に要する経費 | 30万円 |
| ・被災住宅の状況に応じ、災害見舞金を給付 | 60万円 |

その他災害関連事業費

事業費：1,607万円

避難所運営等、災害対応に伴う職員の人工費や資機材費等

持続可能な開発目標 (SDGs) の詳細



目標 1 (貧困)
あらゆる場所あらゆる形態の貧困を終わらせる

目標 5 (ジェンダー)
ジェンダー平等を達成し、すべての女性及び女児のエンパワーメントを行う

目標 8 (経済成長と雇用)
包摂的かつ持続可能な経済成長及びすべての人々の完全かつ生産的な雇用と働きがいのある人間らしい雇用を促進する

目標 11 (持続可能な都市)
包摂的な安全かつ強靭で持続可能な都市及び人間居住を実現する

目標 15 (陸上資源)
陸域生態系の保護、回復、持続可能な利用の推進、持続可能な森林の経営、砂漠化への対処並びに土地の劣化の阻止・回復及び生物多様性の損失を阻止する

目標 2 (飢餓)
飢餓を終わらせ、食料安全保障及び栄養の改善を実現し、持続可能な農業を促進する

目標 6 (水・衛生)
すべての人々の水と衛生の利用可能性と持続可能な管理を確保する

目標 9 (インフラ、産業化、イノベーション)
強靭なインフラ構築、包摂的かつ持続可能な産業化の促進及びイノベーションの推進を図る

目標 12 (持続可能な消費と生産)
持続可能な消費生産形態を確保する

目標 16 (平和)
持続可能な開発のための平和で包摂的な社会を促進し、すべての人々に司法へのアクセスを提供し、あらゆるレベルにおいて効果的で説明責任のある包摂的な制度を構築する

目標 3 (保健)
あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進する

目標 7 (エネルギー)
すべての人々の、安価かつ信頼できる持続可能な近代的なエネルギーへのアクセスを確保する

目標 13 (気候変動)
気候変動及びその影響を軽減するための緊急対策を講じる

目標 17 (実施手段)
持続可能な開発のための実施手段を強化し、グローバル・パートナーシップを活性化する